

「あゝ、大變だ、逃げやう。」

「靜に！ 動いちやいけない！ 戸口の方へ來た。」

二人は床に腹這になつて、床板の節穴に目を當て、恐れ怪みつゝ待つて居た。」

「立ち留つたよ。いやちがふ。ヤ、こつちへ來る。」

來たゝゝ。何にも言つてはいけない。こんな處へ來なければよかつた……」

二人男が入つて來た。

……

此二人の男は、殺人でも強盜でもなんでもする悪漢なのであるが、二人の小年が隠れて居るとも知らずいろゝ悪事の相談をした末、此處を立ち

## 梅雨期と子供の衛生

醫學士 石 塚 保 吉

梅雨期は、非常に病氣の多い時です。殊に傳染病が多いやうです。原因は、黴菌の繁殖に最都合

去るについて、貯への金の囊を、爐邊の石をのけて深く埋める積りで、石を除けると、その下から函が出て中に數千弗の金が入つて居た。悪漢等はふと柔かな泥のついた鶴嘴と鏟とが隅に置いてあるのに氣が付いて、大に怪しみ、こゝに大金を殘して置く事を危く思つて、とうゝ其函を自分らの隠れ家へ持ち去つてしまつた。トムとハックは折角の好運を、道具のおかげでとり逃して、殘念がつてすごゝ歸へつていつた。

（トムの悪戯物語はまだ先か澤山ありますが此處では之を一段としてまた趣のかはつたものに移ります。）

のよい時期であるのと、今一つは、はげしい氣候の變化にあるのです。特に此の時期は、子供が病

氣にかゝりやすいやうです。そして、子供は、多く寝冷えから種々の病氣になるやうです。

#### 微生物の世界

微生物の繁殖に必要な條件は、適當な温度と、濕氣と、その食物になる栄養物です。此三つの條件が備はれば、勢盛に繁殖するのです。梅雨期は、此の三拍子が誠に都合よく揃つて居ります。それで、到る所微生物の世界となつて居るのです。冬は、微生物があつては、たい存在して居ると云ふに止まつて、勢が衰へて居るのですが、此時期になると壁でも、障子でも、疊でも凡べて微生物に占領せられて居るのです。それが自然食物または食器について口の中へは入る、ついで腹の中に侵入するのです。腹の中には入ると、外界で養成せられて居る勢が更に強くなります。而して此時、人間の身體は時候の爲めに弱くなつて、抵抗力が衰へて居ます。そこで、忽ち腸胃の加多留といふやうなもの起すのです。

#### 微生物の害の豫防

之を豫防するには、到る所微生物が繁殖して居るといふ事をよく承知して居て、常に注意して之を驅除する事につとめなければなりません。天氣の好い日は戸棚、疊などをよくふいて、之を日光に乾かす事が必要です。衣類道具などもよく日光に晒して消毒するのです。乾かすといふ事は、微生物にとつて大禁物なのですから、之を勵行するがよろしい。食器、ふきんなどの如きも、その使用後は必ず之を乾かす事に定めておくがよろしい。なるべくは勝手の外側に棚を設けてそこで乾燥せしめるものです。序ですが、日本のお勝手は、多く陰氣くさい所におかれて、どうも等閑に附せられて居るやうです。今少し日あたりのよい、風通しのよい場所をあて、衛生的にしたいものと思ひます。日光消毒は、安價で完全に出來ますから、骨惜しみをしないで實行するがよいと思ひます。

食器に注意すると同時に、食物に氣をつける事

は更に大切な事です。食事はなるべく煮たてのものを用ゐるやうに、菓子類も微菌のつきやすい蒸菓子類は避けた方がよい。果物も新鮮なものを選ばなければなりません。また、食物には必ず蓋をする事を忘れぬやうにするがよろしい。是等の點に注意すれば、微菌は、幾分防ぐ事が出来ます。

#### 腸胃の病氣

是等の注意は、無論一般に必要ですが、小さい子供の食物は殊に注意を要します。此時期に、下痢が多くて、熱の出る腸胃の病氣があります。これは、下痢のあるのよりも重症で、危険が多いのです。かういふ場合には、下痢がないからといって、油断をせずに、早く醫者に見せるやうにしなければなりません。此時期以後の胃腸病は決して馬鹿にする事は出来ません。よく「腸胃の病氣位で安心しました」といふやうな事を聞かされますが、醫者の方では腸胃の病氣に安心する事は出来ません。却つて、チブス、肺炎などのやうなきま

つた病氣よりも心配なのです。腸胃の病氣で斃れた例は決して少なくありません。中毒症を起すとなか／＼なほりにくいのです。外の病氣と同じやうに、或はそれ以上に腸胃の病氣には注意しなくてはなりません。

#### 寢 冷

寢冷の方は、一寸考へると暖かくなれば風をひかない筈のやうですが、却つて寒い時よりも、此時期に於て、風邪にかゝりやすいのです。大人は氣候の變化に應じて、自分で着物を加減しますが子供は着せられたら着せられたまゝ、どうする事も知りませんから、保護者がよほど氣をつけて、多少温度の相違が起つても大丈夫にしておかねばなりません。然らば、寢冷しらす衛生寢巻きのやうのものを着せるがよろしい。手足などは少し出てもかまわないが、胴體、即ち胸や腹の部分をよく包んで、夜中に轉げ出しても別狀のないやうにしておぐがよい。

## 水 いぢり

それから、水いぢりはあまりさせない方がよろしい。水道の口をあけていたづらをしたり、金魚をおひまわしたりすると、つい着物が濡れる。着物がぬれると身體がしめるといふやうな事になるから、水あそびは當分見あはせた方がよろしい。前にもいつた通り、此時期は、傳染病が流行するから、好天氣の外はなるべく外出させぬがよろしい。

## 衣服の清潔

衣服は、なるべく度々取りかへて、殊に肌にくくものは清潔にしなければなりません。衣服が汚れて居ると、どうしても風を引きやすいし、之を媒介として、腸胃の病氣にもかゝりやすいのです。衣服の日光消毒も、食器と同じく必要なる事は申すまでもありません。

## 食物の注意

食物は前に述べました外に、規則正しく與へる

事が大切です。不規則にやる事は、いつでもわるいのですが、此時期に於て、殊によろしくないのです。

品物を選んで、分量を制限して、規則正しくやると云ふ事は、常より以上に注意しなくてはなりません。中流以上にはないやうですが、或は子供に金錢をもたせて、自分勝手なものを買はせるなどの事は甚だよろしくありません。必ず、親が撰んで買つてやるがよろしい。撰んで買つておいても子供が自由に戸棚から出して間食するやうなのは好ましくありません。必ず、親が分量も、時間も定めて與へる事が必要です。平生よい習慣のついで居る子供は、病氣にかゝる事が稀です。また病氣になつても早く全治するやうです。

私の知つて居るある子供など、疫痢病にかゝつたのでしたが、ふだん、嚴格に過ぎる位、衛生に注意せられて居るために、甚だ経過がよくて、直に全快しました。この子供は、お菓子も、他所で

は決して食べないのです。親の與へるもの、外は決して食べません。小さい時から含嗽をさせたり齒をみがさせたりしてありました。それから、病氣の時に困るといふので、吸入もならはせてあつたのです。それで、多くの場合全快がむづかしと

いはれて居る疫痢病にかゝつても、非常に早くなほりました。快方に向つてから後の養生法など非常にむづかしいのですが、極めて容易に之を實行する事が出来たのでした。

## 保 育 入 門 (五)

倉 橋 惣 三

### 五、幼稚園教育の顧慮

幼稚園教育が不斷に顧慮しなければならぬことは、

缺くべからざる顧慮なのである。

- 一、身體の健全なる發達
- 二、神經系統の養護
- 三、個性の保存

#### 一、身體の健全なる發達

の三つである。但し此の三つの顧慮は必ずしも幼稚園教育に限らず、すべての教育に通じて必要のことであるけれども、幼稚園教育に於ても、特に

幼兒の身體は一方に於ては非常に盛なる發達力を有して居るが、また一方に於ては、骨格筋肉等の發達が未だ充分に完成して居ないために、種々なる發達障礙を被り易い。發達力の盛であるといふ方からいへば、之れを存分に助成して、一ぱいの發達を遂げしめなければならない。又、發達障